

令和 7 年 度 再 評 価 調 査

		所 管 課	森林再生課												
		作成年月日	令和 7 年 8 月 22 日												
事業番号	再 2														
事業区分	治山事業		事業名	復旧治山事業											
箇所名	銭窪ほか		施工位置	南足柄市矢倉沢											
事業概要 (全体)	工 期	令和 2 年度～ 9 年度 (8 年間)	事業 費	184百万円 (負担率：国 55%：県 45%)											
前回評価の結果		—	評価実施理由	事業着手後 5 年経過											
事業計画等の 概要		<p>(1) 事業目的 「治山事業」は、森林の維持造成を通じて、山地が原因となる災害から国民の生命財産を守り、水源のかん養、生活環境の保全形成を図る事業で、重要な国土保全施策の一つであり、そのうち「復旧治山事業」は、森林の崩壊地や荒廃溪流を早期に復旧整備し、水源かん養機能や土砂流出防止機能など森林の持つ公益的機能を回復させることで、山地災害を防ぎ、地域住民の安全・安心の確保を図ることを目的としている。</p> <p>(2) 事業内容 全体計画（主なもの）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">工種名等</th> <th style="width: 40%;">事業量（数量・延長等）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>谷止工（溪間工）</td> <td style="text-align: center;">2 基</td> </tr> <tr> <td>床固工（溪間工）</td> <td style="text-align: center;">3 個</td> </tr> <tr> <td>流路工（溪間工）</td> <td style="text-align: center;">107m</td> </tr> <tr> <td>土留工（山腹工）</td> <td style="text-align: center;">5 個</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事業計画策定の背景</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 事業実施の根拠 「治山事業」は、森林法第25条第1項第1号から第7号に掲げる保安林の指定目的を達成するために行う森林の造成若しくは維持に必要な、森林法第41条を根拠とする「保安施設事業」である。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 計画時の状況 当事業施工地は、神奈川県内に甚大な被害もたらした令和元年東日本台風の豪雨により、山腹崩壊が発生するとともに、溪流部の浸食が起き、大量の土砂が流出した。流出した土砂は、川入林道を閉塞するとともに、直下にある南足柄市の市営矢倉沢浄水場の取水施設へと流入し、南足柄市のほぼ全域に断水等の被害を与えた。 そのため、南足柄市等からの強い要望も受け、国庫補助事業である「復旧治山事業」により、当該地区の山地被害の復旧を計画した。</p>				工種名等	事業量（数量・延長等）	谷止工（溪間工）	2 基	床固工（溪間工）	3 個	流路工（溪間工）	107m	土留工（山腹工）	5 個
工種名等	事業量（数量・延長等）														
谷止工（溪間工）	2 基														
床固工（溪間工）	3 個														
流路工（溪間工）	107m														
土留工（山腹工）	5 個														

	<p>ウ 必要性</p> <p>当該地区の下流には浄水場や林道に加え、人家16戸、水田1ヘクタール、マス釣り場及び養魚場等の保全対象があり、気候変動により災害の頻発化や激甚化している中、当事業を完了させ、さらなる被害の防止や山腹や溪流の復旧を図る必要がある。</p>
--	--

1 社会経済情勢等の変化と対応

項目	計画時の状況	現在の状況
社会経済情勢等	<p>治山事業においては、山地災害危険地区におけるハード及びソフト対策等、山地災害を総合的に予防する取組が進められている。</p> <p>また、当事業の実施について、南足柄市や地域住民等から強い要望があった。</p>	<p>近年、ゲリラ豪雨や線状降水帯、台風の大型化など気候変動による災害の頻発化や激甚化が顕著になってきていることに伴い、山地災害の減災や防災に関する意識が計画時より一層高まっている。</p>
受益地（者）等の状況	<p>【保全対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人家 16戸 ・ 市営浄水場（取水施設） ・ 水田 1ヘクタール ・ マス釣り場 ・ 養魚場 ・ 林道 0.9キロメートル ・ 2級河川 2.1キロメートル 	<p>受益地（者）の状況に変化はない。</p> <p>なお、当事業の完了について、南足柄市や地域住民等から継続した要望がある。</p>
他の公共施設・公共事業等との関連	<p>「砂防治山連絡調整会議」を毎年開催し、治山事業担当部局と砂防事業担当部局間で、次年度以降の計画箇所の調整を行っている。</p>	同左
その他の項目	<p>平成30年12月14日に閣議決定された「国土強靱化基本計画」では、大規模地震災害等に対する備えを行うことが重要であるとされ、治山事業については、事前防災・減災のための山地災害対策を強化すると位置付けられている。</p>	<p>令和7年6月6日に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」では、「国土強靱化基本計画（令和5年7月28日閣議決定）」で定められた国土強靱化政策の展開方向及び推進方針を踏まえ、推進が特に必要となる施策として「国民の生命と財産を守る防災インフラの整備・管理」、「気候変動に対応した流域治水対策等の推進」が示され、実施中期計画では推進施策として「山地災害危険地区等における治山対策」が位置付けられている。</p>

2 事業実施による効果について

(1) 直接的効果

ア 山地災害の防止

当事業の実施において、土留工等の山腹工により山腹崩壊を復旧して崩壊地の拡大を防止し、土壌の移動を抑えることで植生の回復が図られる。また、谷止工、床固工及び流路工等の溪間工を溪流に設置することで堆積する不安定土砂を安定させ、溪岸浸食を防止、林地斜面の樹林化が促進される。

その結果、樹木の根系が山腹崩壊を防止する機能や、下草やかん木が森林土壌の表面を覆うことで、雨水による地表流を和らげて土壌流出を防止する機能が発揮され、山地災害の防止が図られる。

イ 地域住民等の安全や安心の確保

当事業の実施により、山腹崩壊や荒廃溪流が復旧し、山地が強靱化し、主に下流の地域住民等の生命・財産などの安全や安心が確保される。

(2) 副次的効果

ア 水源かん養機能（洪水緩和機能）等の森林の持つ公益的機能の発揮

当事業の実施により、山腹崩壊地や溪岸の植生が回復し、森林化が進むことで、溪流内への雨水の急激な流出を緩和する水源かん養機能などの「森林の持つ公益的機能」が発揮される。

イ 動植物等の生育環境の造成

当事業の実施により、下草、かん木、広葉樹を含めた森林化が進むことで、森林内の生物の多様性が育まれ、動植物等にとって良好な生育環境の造成が図られる。

3 事業の進捗状況等

(1) 事業の進捗状況及び今後の執行見込み

ア 事業の進捗状況

令和9年度までの全体計画に対する令和2年度から6年度までの5年間の進捗率は、事業費ベースで約50%となっており、令和7年度の計画額を加えると、進捗率は約70%となる。

当事業では、溪流部に堆積する不安定土砂の下流へ及ぼす影響を考慮し、溪間工の復旧整備を優先して実施しており、令和5年度までに、谷止工1基、床固工3個、流路工85mが完了している。

なお、令和3年度、5年度及び6年度については、当事業地よりも緊急度の高い被災箇所の整備を優先したため、当事業地の実施はやむを得ず見送った。

イ 今後の執行見込み

令和7年度は、溪間工の谷止工の残り1基を施工し、令和8年度及び9年度で、崩壊地を復旧する山腹工の土留工5個等を施工し、事業が完了する予定である。

ウ 年度別の進捗状況及び執行見込み

(単位：事業量；表内記載、事業費；千円)

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
計 画	事業量	・谷止工 1基 ・床固工 1個 ・流路工 33m	—	・床固工 2個 ・流路工 52m	—	—
	事業費	40,449	—	56,925	—	—
	進捗率	22%	—	53%	—	—
進捗状況及び今後の執行見込み	事業量	・計画と同	—	・計画と同	—	—
	事業費	40,449	—	56,925	—	—
	進捗率	22%	—	53%	—	—
年 度		R 7	R 8	R 9	計	
計 画	事業量	・谷止工 1基	・土留工 2個 ・水路工 102m ・流路工 22m ・垂直壁 1個 ・筋工 190m ・伏工 722 m ²	・土留工 3個 ・筋工 60m ・伏工 550 m ²	・谷止工 2基 ・床固工 3個 ・流路工 107m ・垂直壁 1個 ・土留工 5個 ・水路工 102m ・筋工 250m ・伏工 1,272 m ²	
	事業費	33,740	33,184	19,471	183,769	
	進捗率	71%	89%	100%	—	
進捗状況及び今後の執行見込み	事業量	・計画と同	・計画と同	・計画と同	・計画と同	
	事業費	33,740	33,184	19,471	183,769	
	進捗率	71%	89%	100%	—	

※ 進捗率は当該年度までの累計値。今後の執行見込みのうち未確定部分は斜字体で記載。

(2) コスト縮減の取組

人件費の上昇やコンクリートなど資材高騰の影響を最小限に抑えるため、早期の事業完了に取り組んでいる。また、当事業の実施により、山地災害を未然に防止し、災害発生後の復旧費用よりコスト減となる。

(3) 環境配慮への取組

当事業の実施に当たっては、現場で使用する重機等に排出ガス対策型や低騒音型を用いている。

4 代替案の可能性（見直しが必要な場合）

事業実施による効果が期待できるため、事業を継続することが妥当である。

5 総合的な評価と再評価を踏まえた対応

(1) 評価結果

継続・~~継続(期間延長)~~・~~計画変更~~・~~休止~~・~~中止~~

(2) 評価理由及び今後の対応方針

当事業は、地域住民等の生命や財産の安全・安心を確保すること目的として実施しているものであることから、事業を継続することが妥当である。

費用対効果分析総括表

- 【 番 号 】 再2
 【 事 業 名 】 復旧治山事業
 【 地区(路線名) 】 南足柄市矢倉沢
 【 算 定 根 拠 】 費用便益分析プログラム2025-06-23 (V5.0)

◆直接的効果

◇便益(効果)額の算定◇

(単位：千円)

便益(効果)の種類	便益(効果)額 (現況：R7)	便益(効果)額 (当初：R5)
水源かん養便益	9,747	8,289
災害防止便益	990,249	1,081,836
総 便 益 額 (B)	999,996	1,090,125

<水源かん養便益>

- ・水源かん養便益は、洪水防止便益、流域貯水便益及び水質浄化便益から構成されている
- ・流域貯水便益は、事業の実施による森林の土壌内に浸透した雨量の増加分を利水ダムに機能代替させて評価したもの
- ・水質浄化便益は、森林の全貯留量のうち、生活用水使用相当分については水道代金で代替えた費用、その他の水量については雨水利用施設を用いて雨水を浄化する費用により、水質浄化の効果を評価したもの

<災害防止便益>

- ・治山事業を実施しない場合の山腹崩壊、土石流、地すべり等の想定被害額を算定し、これを便益として評価するもの

◇費用額の算定◇

(単位：千円)

区 分	費用額 (現況)	費用額 (当初)
事 業 費	167,063	183,769
総 費 用 額 (C)	176,226	205,102

◇費用対効果の算定◇

(現況)

(当初)

費用対効果 (B) / (C)	5.67	5.32
--------------------	------	------

◆副次的効果（神奈川県として注目したい便益）

<水源かん養に関する便益>

（評 価）

洪水緩和機能の発揮

（内 容）

事業の実施により、山腹崩壊地等の植生が回復することで、雨水等に対する洪水ピーク流量を遅らせるとともに、雨水が土壌へ浸透することにより表面流を減少させる効果が発揮される。

<環境保全に関する便益>

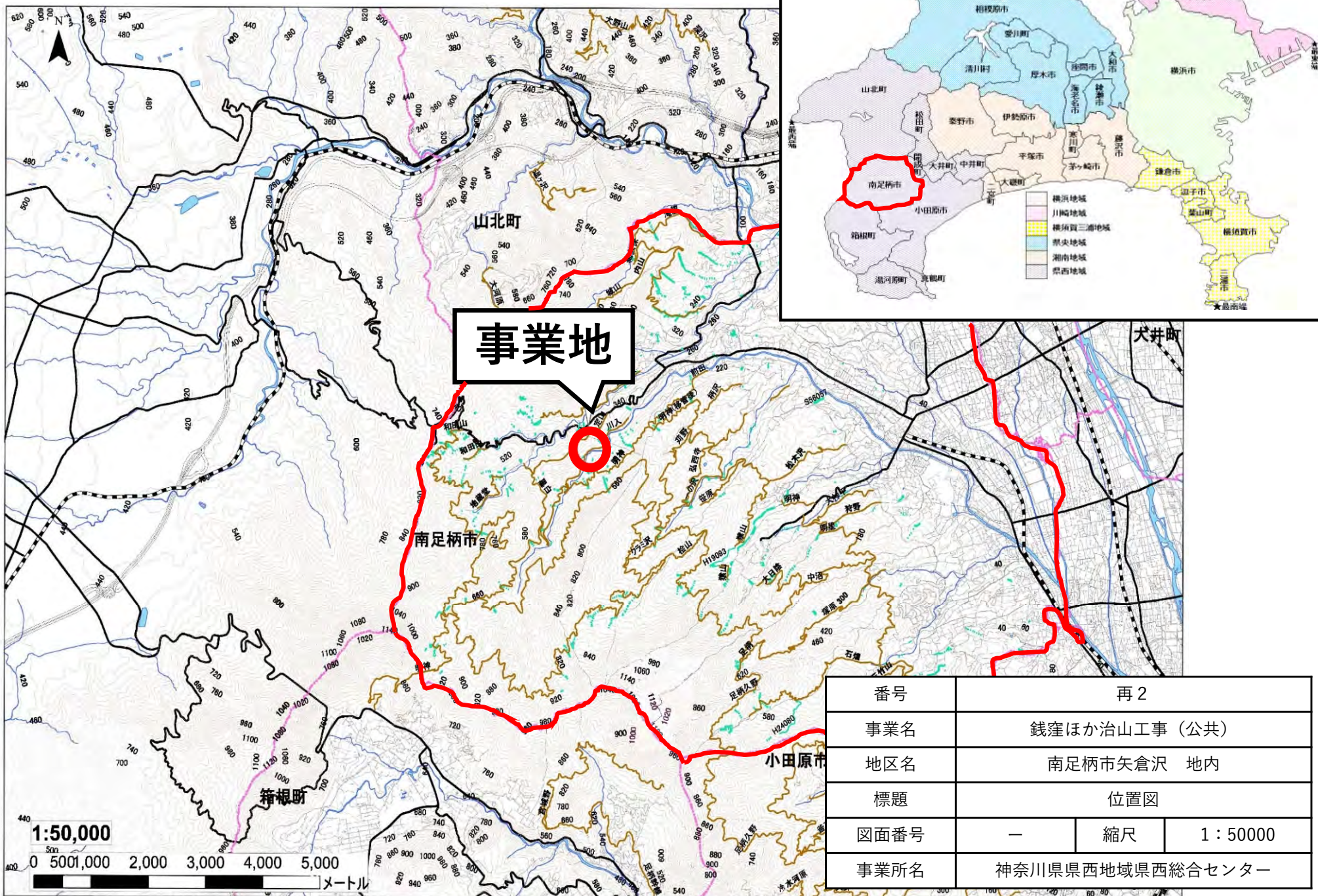
（評 価）

動植物等の生育環境の造成

（内 容）

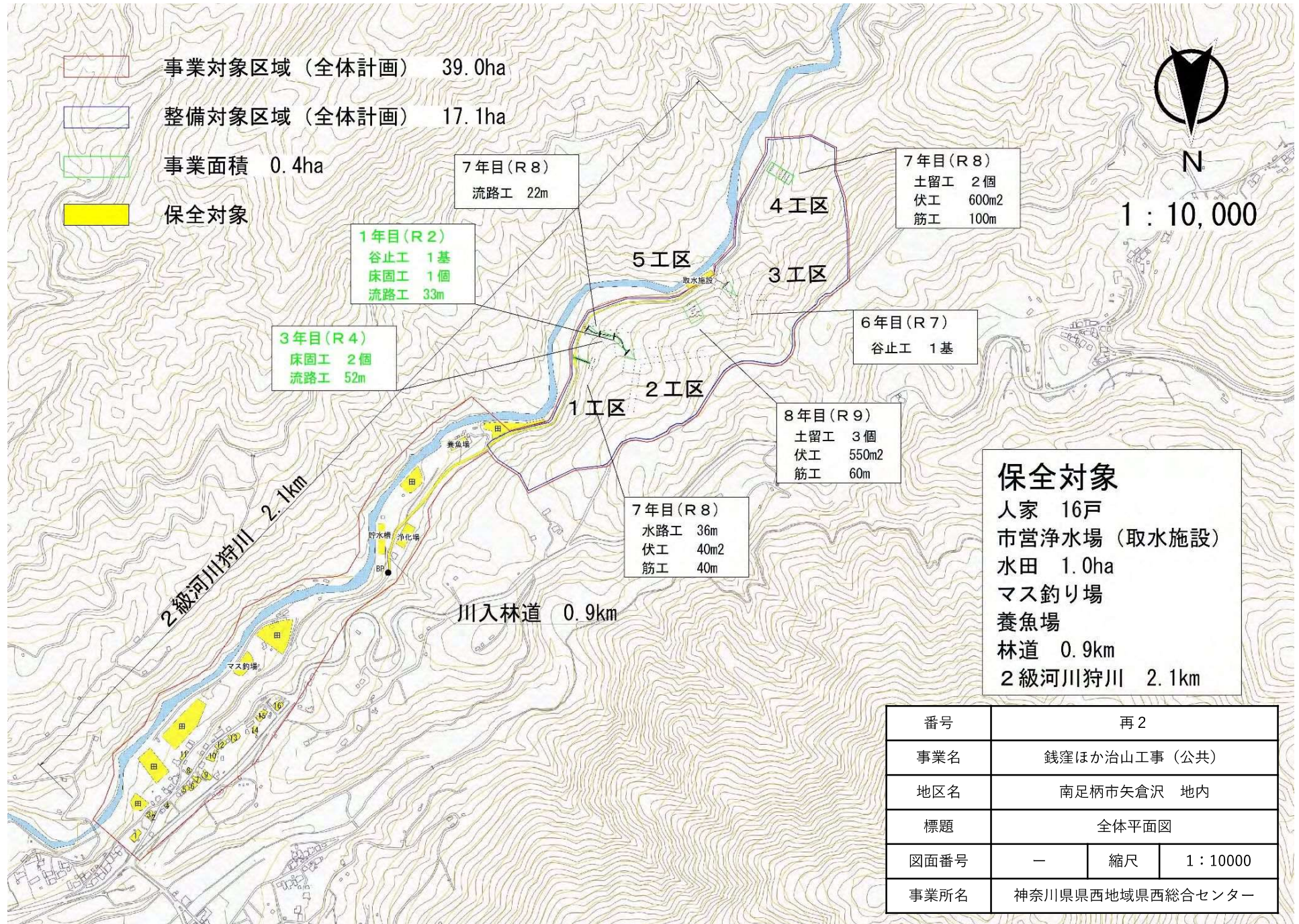
事業の実施により、森林の基盤ができ、土壌や植生が回復することにより森林内の生物の多様性が生まれ、動植物等の生育に良好な環境条件が造成される。

1. 位置図

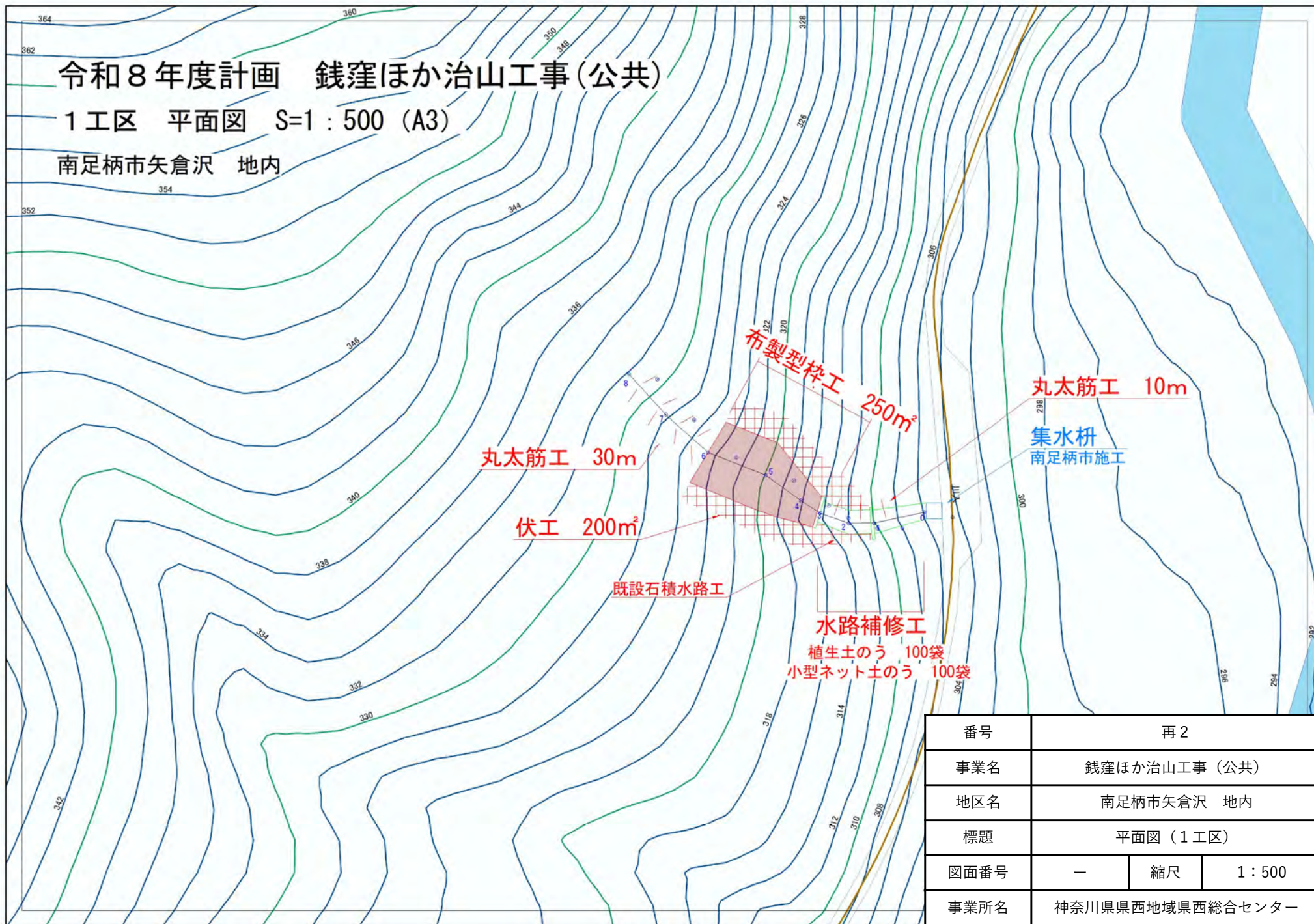


番号	再2		
事業名	銭窪ほか治山工事 (公共)		
地区名	南足柄市矢倉沢 地内		
標題	位置図		
図面番号	—	縮尺	1 : 50000
事業所名	神奈川県県西地域県西総合センター		

2. 全体平面図



3-1. 平面図 (1工区)

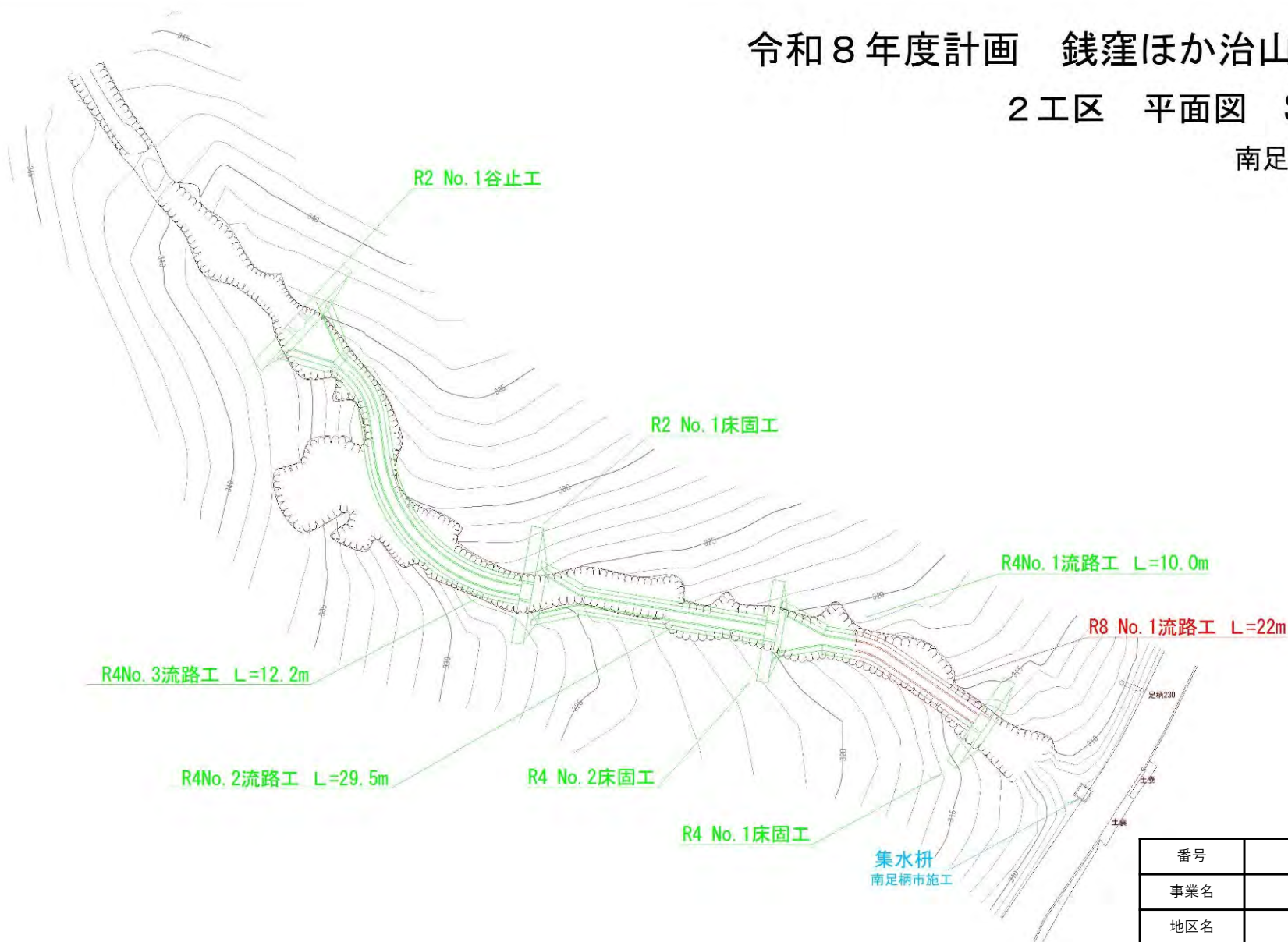


3-2. 平面図 (2工区)

令和8年度計画 銭窪ほか治山工事 (公共)

2工区 平面図 S=1:500 (A3)

南足柄市矢倉沢 地内



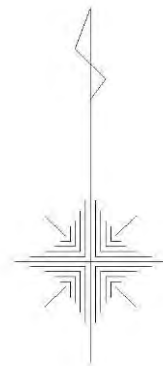
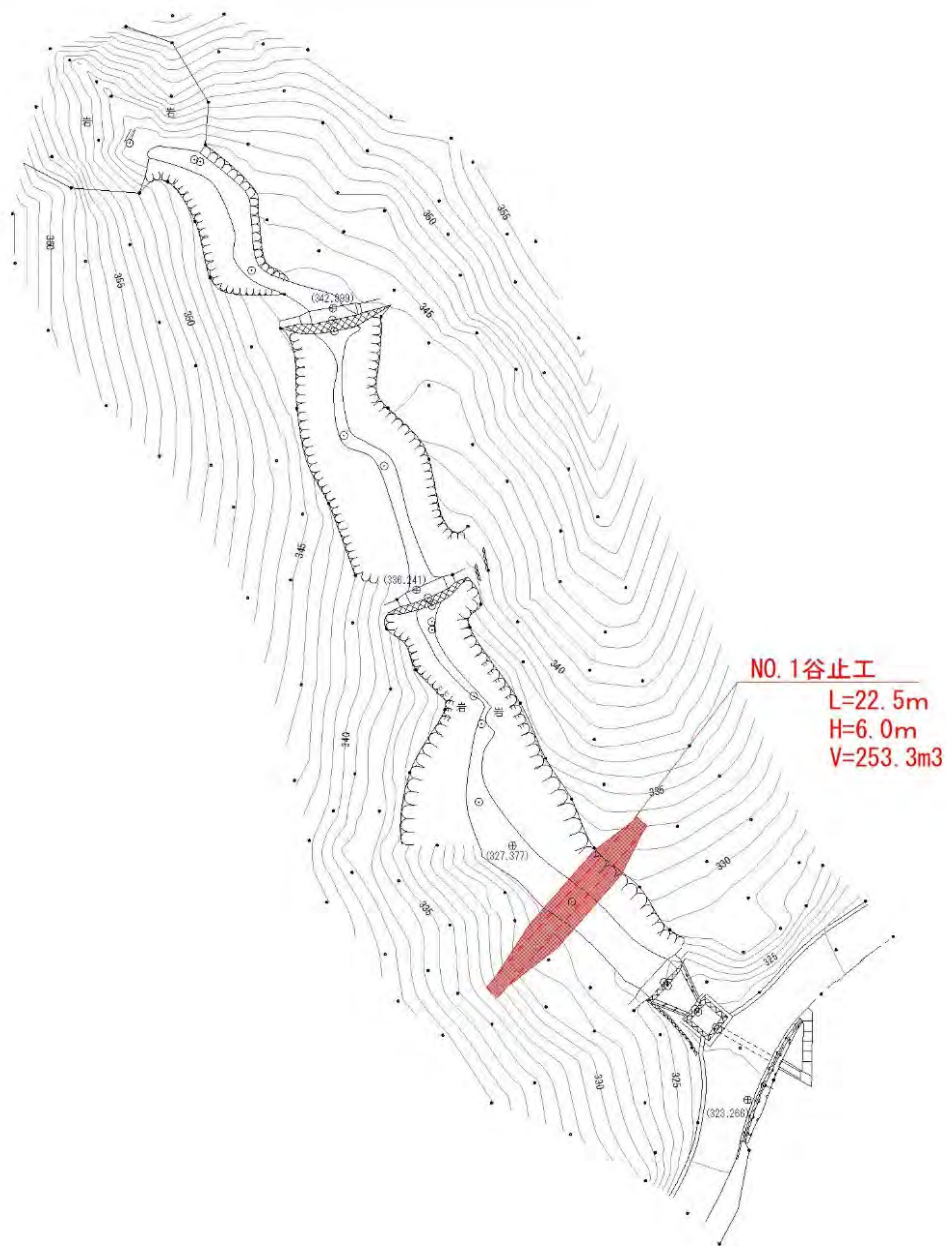
番号	再 2		
事業名	銭窪ほか治山工事 (公共)		
地区名	南足柄市矢倉沢 地内		
標題	平面図 (2工区)		
図面番号	—	縮尺	1:500
事業所名	神奈川県西地域県西総合センター		

3-3. 平面図 (3工区)

令和7年度 銭窪ほか治山工事(公共)

3工区 平面図 S=1:500 (A3)

南足柄市矢倉沢 地内



NO.1谷止工
L=22.5m
H=6.0m
V=253.3m³

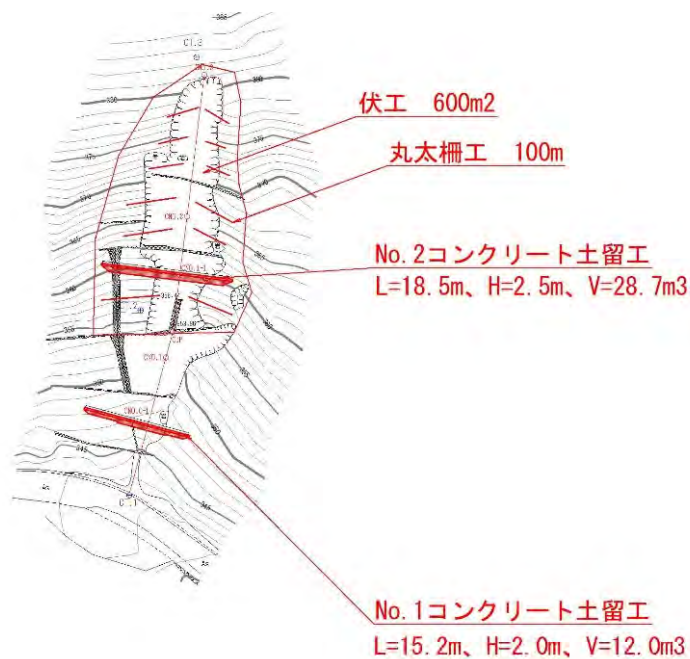
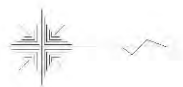
番号	再2		
事業名	銭窪ほか治山工事(公共)		
地区名	南足柄市矢倉沢 地内		
標題	平面図(3工区)		
図面番号	—	縮尺	1:500
事業所名	神奈川県西地域県西総合センター		

3-4. 平面図 (4工区)

令和8年度計画 銭窪ほか治山工事 (公共)

4工区 平面図 S=1:500

南足柄市矢倉沢 地内



番号	再2		
事業名	銭窪ほか治山工事 (公共)		
地区名	南足柄市矢倉沢 地内		
標題	平面図 (4工区)		
図面番号	—	縮尺	1:500
事業所名	神奈川県西地域県西総合センター		



3-5. 平面図 (5工区)

令和9年度計画 銭窪ほか治山工事 (公共)

5工区 平面図 S=1 : 500

南足柄市矢倉沢 地内



凡例	
	林道
	河川

伏工550m²

No. 3コンクリート土留工

L=28.0m、H=3.0m、V=47.1m³

丸太筋工 60m

No. 2コンクリート土留工

L=9.5m、H=2.5m、V=11.1m³

No. 1コンクリート土留工

L=11.0m、H=2.5m、V=13.1m³

番号	再 2		
事業名	銭窪ほか治山工事 (公共)		
地区名	南足柄市矢倉沢 地内		
標題	平面図 (5工区)		
図面番号	—	縮尺	1 : 500
事業所名	神奈川県西地域県西総合センター		